

## 第3章

---

---

これまでの取り組み（既存の保健事業）

---

---

## 第3章 これまでの取り組み（既存の保健事業）

### 1. 保健事業の現状

国保部門の保健事業としては、特定健康診査・特定保健指導をはじめとして、受診率向上のための未受診者勧奨事業や人間ドック費用助成制度、医療費適正化事業など様々な事業を行っています。

特定健診受診率は約50%前後で推移しており、県内でも高い水準を維持していますが、目標値の60%は達成できていません。今後も未受診者勧奨などの事業の継続・充実により受診率向上を目指します。また、医療費の抑制についても、医療費通知、後発薬品の差額通知など被保険者の医療費に対する意識の向上や薬価の低い後発薬品の利用促進を目的としたポピュレーションアプローチを行っています。しかし、被保険者数が年々減少しているにもかかわらず総医療費は増加傾向にあるため、医療費抑制の取り組みについても国保部門と衛生部門が連携を取りながら神戸町全体の保健事業として継続的かつ一体的に取り組みます。

#### ■神戸町の保健事業の現状（国保の保健事業）

事業名	目的・目標	対象者	事業内容 実施方法	実施者	実施期間	実施場所
特定健康診査	健康維持・増進、 生活習慣病予防	40～74歳の 国保加入者	個別健診	健康福祉課 (国保担当)	8月～11月	町内の委託 医療機関
特定健診未受診者勧奨		特定健診未受 診者	郵送による 個別通知		10月	郵送
特定保健指導	健診結果に応じた 生活習慣改善指導	特定健診受診 者	個別又は集団	保健センター (衛生担当)	9月～翌6月	主に保健セ ンター
医療機関受診勧奨	健康維持・増進、 疾病予防	特定健診受診 者	個別通知		特定健診受 診後	郵送
後期高齢者健康診査	健康維持・増進、 介護予防	後期高齢者医 療保険加入者	個別健診	健康福祉課	8・9月	町内の委託 医療機関
人間ドック費用助成 制度	健康維持・増進、 生活習慣病予防	40～74歳の 国保加入者	受診費用か ら上限 12,000円 助成	健康福祉課 (国保担当)	通年	—
医療費通知	医療費の適正化	国保加入者全 員	郵送による 個別通知	健康福祉課 (国保連)	年6回 (偶数月)	郵送
後発薬品の差額通知	後発医薬品の使用 促進・調剤医療費 の適正化				年2回 (6月・12月)	

国保部門以外で実施されている保健事業は、主に保健センター（衛生担当）で実施されています。衛生部門で行われている保健事業は、加入医療保険に関わらず広く町民を対象とした事業として実施されています。国保部門で実施している保健事業と衛生部門が実施している保健事業とでお互いを補完しながら国保被保険者または町民の健康維持・増進を図ります。また、特定健診対象以前の健康診査については、衛生担当で女性のみ対象の健康診査を実施していましたが、より若い世代からの健康保持・増進を目的として平成30年度からは若い世代の男性被保険者も健診が受けられるよう事業を計画しています。

■神戸町の保健事業の現状（その他の保健事業）

事業名		目的・目標	対象者	事業内容 実施方法	実施者	実施期間	実施場所
健康手帳の交付		健康維持・増進	40歳以上の町民	希望者に配布	保健センター (衛生担当)	通年	—
出前講座（健康相談・健康教育）		健康に関する知識の普及・啓発、個別相談	全町民	集団指導・個別相談		通年	各地区公民館など
がん検診	胃	がんの予防・早期発見	40歳以上	集団検診	保健センター (衛生担当)	4月～7月	保健センター
	肺		40歳以上	集団検診		8月	保健センター
がん検診	大腸	がんの予防・早期発見	40歳以上	集団検診	保健センター (衛生担当)	8月	保健センター
	子宮		20歳以上	個別検診		5月～翌1月	委託医療機関
	乳房		30歳以上	集団又は個別検診		4・5月	保健センターまたは委託医療機関
	肝がん (肝炎ウイルス)		40歳以上	個別検診		7月～11月	町内の委託医療機関
	前立腺		50歳以上	個別検診		7月～11月	町内の委託医療機関
歯周疾患検診		健康維持・増進	40、50、60歳	個別検診	保健センター (衛生担当)	7月～12月	町内の委託医療機関
女性の健康診査		健康維持・増進	18歳～39歳の女性	集団健診		10月	保健センター
75g糖負荷試験（OGTT）実施勧奨		糖尿病の早期発見・予防	特定健診受診者のうち糖尿病の疑いがある者	個別通知		9月～翌1月	郵送

## 2. 前期計画（平成 29 年度の単年計画）の実施結果

前期の計画（平成 29 年度の単年計画）においては、糖尿病対策を重点課題として挙げ、75g 糖負荷試験（以下 OGTT）の実施勸奨事業と未治療者に対する受診勸奨事業を中心に取り組んでいるところです。特定健診が 8 月から 11 月にかけて実施されるため、9 月から 12 月頃にかけてそれぞれの事業の対象者を抽出し、事業実施をすすめています。本計画の策定時点では実施途中のため正確な評価が難しいですが、平成 29 年度の実施結果（平成 29 年 12 月末時点）は以下の通りです。

### （1）OGTT 実施勸奨事業について

平成 29 年 12 月末時点で特定健診の受診者は 1748 名となっており、OGTT の対象者は 111 名（受診者の 6.4%）となっています。対象者 111 名のうち、結果通知のあった者（医療機関を受診した者）が 35 名（31.5%）となっています。しかし、実際に OGTT を実施したものは 25 名（22.5%）となっており、残りの 10 名（受診者の 28.6%）は受診したが OGTT は未実施となっています。受診者のうち約 3 割がすでに治療中などの理由で OGTT 未実施となっており、可能であれば、対象者を選定する際に治療状況（レセプト状況）を確認するなどして対象者を選定する必要があります。

OGTT 実施者のうち、正常型と診断された者は 9 名（36%）となっており、その他の 16 名（64%）が境界型もしくは糖尿病型（医学的管理の対象者）となっています。OGTT 実施者のうち 6 割以上の方が医学的管理の対象としてかかりつけ医による経過観察も含めた治療に結びついたのは評価できます。

未実施理由のアンケートについては 12 月末の時点で 16 通の回答がありました。そのうち 11 名がすでにかかりつけ医での診療を受けていると回答しており、回答があった者の多くがすでに経過観察中であることがわかりました。しかし、回答が得られていない者が多く残っているため、電話等で未実施の理由について把握に努め、考察したいと考えています。

### ■HbA1c：6.0～6.4%の方についての OGTT 実施状況

健診時HbA1c値	対象者数	結果通知		OGTT実施		OGTT未実施		診断名					
				人数	実施率※	人数	未実施率※	正常型		境界型		糖尿病型	
								人数	割合	人数	割合	人数	割合
6.0	39	14	35.9%	11	28.2%	3	21.4%	5	45%	4	36%	2	18%
6.1	22	9	40.9%	7	31.8%	2	22.2%	3	43%	3	43%	1	14%
6.2	20	3	15.0%	2	10.0%	1	33.3%	0	0%	1	50%	1	50%
6.3	18	7	38.9%	3	16.7%	4	57.1%	1	33%	1	33%	1	33%
6.4	12	2	16.7%	2	16.7%	0	0.0%	0	0%	0	0%	2	100%
合計	111	35	31.5%	25	22.5%	10	28.6%	9	36%	9	36%	7	28%

※ OGTT実施率は実施人数を対象者数で割ったもの

※ OGTT未実施率は未実施の人数を結果通知のあった者の数で割ったもの

## (2) 糖尿病未治療者に対する受診勧奨事業

特定健診の結果 HbA1c が 6.5%以上の者で他の生活習慣病も含めた未治療者については、健診を受診した医療機関で結果通知を行うこととし、結果説明と同時に受診をしていただく事業を実施しています。平成 29 年度の実施結果（12 月末時点）は表の通りです。

対象者は 18 名（健診受診者の約 1%）となっているが、すでに治療中で除外された者が 6 名（対象者の 1/3）ありました。事業開始当初は健診結果のみで対象者を選定していましたが、医療機関に対象者を紹介した時点で治療中のため除外となる者が多く、途中からはレセプト状況を確認し、対象者を選定する時点で治療中の者を除外することとしました。

受診医療機関とかかりつけ医が異なるという理由で他院での受診を希望された者は 1 名でした。その他 1 名は、健診受診後すぐに受診医療機関で糖尿病の治療が開始されました。

### ■未治療者に対する受診勧奨事業の結果

項目	人数
特定健診受診者数	1748
対象者数	18
既治療中など除外者	6
他院での受診希望者	1
その他	1